

2014 年度秋学期 統計学 第 14 回演習の解答例

1. 標本だけが測定可能なときに、母平均などの母集団分布に関する量について、統計量をもとに「母平均はある値ではないといえるか」「母平均はある値より小さい（大きい）といえるか」といった判断を行うこと。
2. 両側検定は、母集団分布に関する帰無仮説が、統計量にくらべて、大小どちらに外れていても問題になるときに用いる。片側検定は、大小どちらかに外れていることは問題だが、もう一方に外れていても問題はない場合に用いる。